地質柱状図（No. 1）

調査件名　千葉市立山王小学校増築地質調査委託

調査場所　千葉市山王町121

調査期間　自 昭和55年4月25日　至 昭和55年4月26日

現場担当者

標高　仮B.M ±0M(GL) −0.16 M

水位（~~自然~~・孔内）GL−2.40 M

月日	標尺(m)	標高(m)	深度(m)	層厚(m)	地質記号	色調	地質名	観察記事	相対密度	標準貫入試験 深度(m)	打撃数 回/cm	10cm毎の打撃回数 回/10cm 10	20	30	N値(回)	採取深度 不攪乱資料(m)
	0	0.16														
		0.26	0.10	0.10		暗茶褐	表土	ローム状の表土。								
	1							植物根少量混入 粘質分、含水分共に少なく 均質ロームである。	軟	1 1.15 1.47	3/32	1/12	1/9	1/9		
	2									2 2.15 2.45	4/30	3/13	1/8	1/9		
	3	3.56	3.40	3.30		暗黄褐	ローム		軟	3 3.15 3.47	4/32	3/14	1/12	1/11		
	4	4.66	4.50			乳黄灰		火山灰多量混入	軟	4 4.15 4.49	3/34	1/13	1	1/11		
	5	5.71	5.55			淡黄褐		細石少量混入 粘着力強し。	中	5 5.15 5.47	6/32	2/12	2	2		
	6	6.66	6.50	3.10		乳黄灰	シルト質粘土	含水分多く、火山灰多量、植物根状あり、粘着力弱し。	極軟	6 6.15 6.45	1/30	0/17		1/13		
	7						細石少	シルト帯状に少量挟み 細砂少量混入。	緩	7 7.15 7.47	8/32	2/11	3/11	3/11		
	8	8.61	8.45			淡黄灰			中	8 8.15 8.46	10/31	3/12	3/11	4/8		
						暗黄褐										
	9								中	9 9.15 9.45	11/30	3	4/12	4/8		
	10								緩	10 10.15 10.47	9/32	3/12	2/11	5/9		
	11								中	11 11.15 11.45	11/30	3/11	4/10	4/9		
	12									12 12.15 12.45	21/30	5	8	8		
4.25	13							下部含水分稍々多く 層厚につれ少なし。		13 13.15 13.45	25/30	6	8	11		
	14							細砂少量混入し 粘土均一である。		14 14.15 14.45	21/30	6	7	8		
	15								中	15 15.15 15.45	24/30	6	8	10		
	16						細石少	16.00m付近赤褐に変色し酸化鉄多量含む。	密	16 16.15 16.45	35/30	10	13	12		
	17								密	17 17.15 17.45	31/30	9	10	12		
	18								中	18 18.15 18.45	12/30	4/12	4	4/8		
	19	19.76	19.60			暗黄褐			中	19 19.15 19.45	18/30	5	6	7		
	20					暗黄灰			極密	20 20.15 20.41	50/28	12	19	19/8		
	21									21 21.15 21.42	50/27	15	19	16/7		
	22							シルト帯状に微量挟む。 細砂少量混入 粘土均一で全般に締る。		22 22.15 22.40	50/25	14	23	13/5		
	23									23 23.15 23.41	50/26	15	18	17/6		
	24								極密	24 24.15 24.39	50/24	15	23	12/4		
4.26	25	25.66	25.40	18.90		暗黄灰	細石少			25 25.15 25.40	50/25	15	21	14/5		
	26															
	27															
	28															
	29															
	30															
	31															
	32															

柱状－ＢＡＳＥ

第　　図　土質柱状図

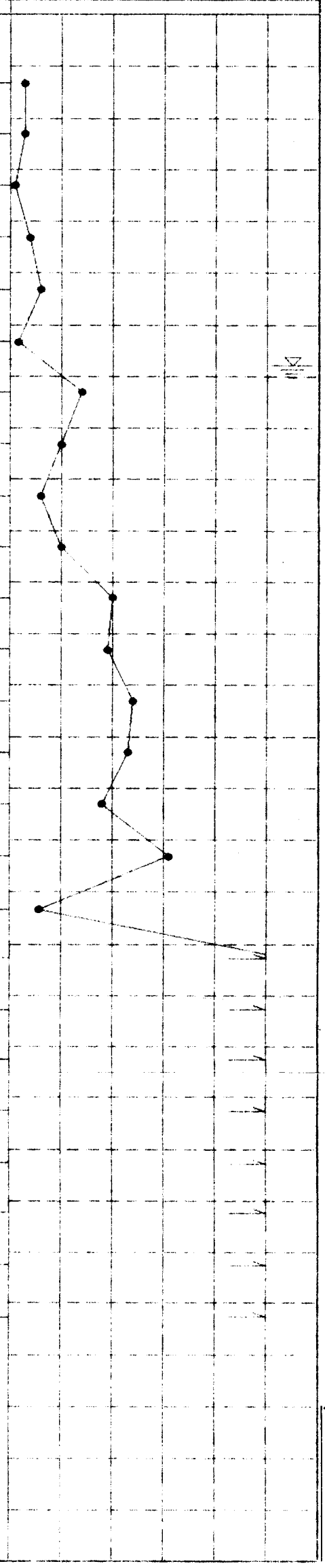
調査名	千葉市立山王小学校連絡通路建設地質調査業務委託	ボーリング方法	ロータリー　式
調査位置	千葉市山王町１２１番地		
地点番号No.	1	標高 GL +0.13 m	調査年月日62年 4月27日～ 4月30日
		孔内水位 GL-6.85 m	担当者名

備考

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	層厚(m)	土質記号	試料採取	土質名	色調	記事
	-0.12	0.25	0.25			表土	暗茶褐	ローム　茶褐のローム混じる
	-2.47	2.60	2.35			ローム	茶褐	均質なロームで黒褐の有機物混入 2.00m若干粘性が有り均質なローム
	-4.87	5.00	2.40			凝灰質粘土	茶褐	茶褐の有機物多量に混入　3.30mより粘性が強い 4.00m乳灰の粘土で非常に粘差力が強い 暗灰の粘土混じる
	-5.57	5.70	0.70			砂混り粘土	茶褐	凝灰質有機物混入 若干砂が多い
	-6.72	6.85	1.15			粘土	乳灰	色調一定せず粘性有り 6.40m乳灰の砂挟む
	-10.17	10.30	3.45			細砂	褐灰	7.00m均質な細砂で有機物混入 8.00m暗乳灰の細砂で均一　9.00m粘土が挟む　砂は均一 10.00m上部粘土が薄く挟む　下部粒子小さく均一　雲母混入
	-16.72	16.85	6.55			微細砂	褐灰	含水中位 全体に砂の粒子小さく均一 雲母混入 15.00m上部黄褐の粘土が少量混じる 下部均一な微細砂雲母混入 16.00m上部赤色の砂が挟む
	-17.47	17.60	0.75			貝殻混り細砂	褐灰	多量の貝殻片が混じる 17.20mよりオール透水
	-25.26	25.39	7.79			細砂	暗灰	含水小　貝殻片混入均一な細砂 19.00m上部多量の貝殻片混入 全体に均一な細砂で良く締まっている 有機物混入 21.30～23.00m間黄褐色挟む 色調一定せず 23.00m上部暗茶褐の砂 23.25m含水中位 砂の粒子小さく均質な細砂である 雲母混入

標準貫入試験

深度(m)	N値 回	10cm毎の打撃回数 10cm	20cm	30cm
1.15	3	1	1	1
1.47	32	13	11	8
2.15	3	1	1	1
2.46	31	16	7	8
3.15	1	1		
3.46	31	31		
4.15	4	1	1	2
4.47	32	10	10	12
5.15	6	2	2	2
5.45	30	10	10	10
6.15	2	1	1	
6.51	36	20	16	
7.15	14	4	5	5
7.45	30	10	10	10
8.15	10	3	3	4
8.45	30	10	10	10
9.15	6	1	3	2
9.45	30	8	13	9
10.15	10	2	4	4
10.45	30	10	10	10
11.15	20	4	8	8
11.45	30	10	10	10
12.15	19	5	6	8
12.45	30	10	10	10
13.15	24	6	8	10
13.45	30	10	10	10
14.15	23	5	9	9
14.45	30	10	10	10
15.15	18	4	5	9
15.45	30	10	10	10
16.15	31	13	8	10
16.45	30	10	10	10
17.15	7	4	2	1
17.52	37	10	12	15
18.15	50	15	20	15
18.41	26	10	10	6
19.15	50	16	20	14
19.40	25	10	10	5
20.15	50	18	26	6
20.37	22	10	10	2
21.15	50	21	26	3
21.36	21	10	10	1
22.15	50	13	24	13
22.39	24	10	10	4
23.15	50	33	17	
23.29	14	10	4	
24.15	50	21	29	
24.33	18	10	8	
25.15	50	18	19	13
25.39	24	10	10	4



ボーリング柱状図

調　査　名　千葉市立山王小学校他2校エレベーター設置地質調査業務委託

ボーリング№

事業・工事名

シート№

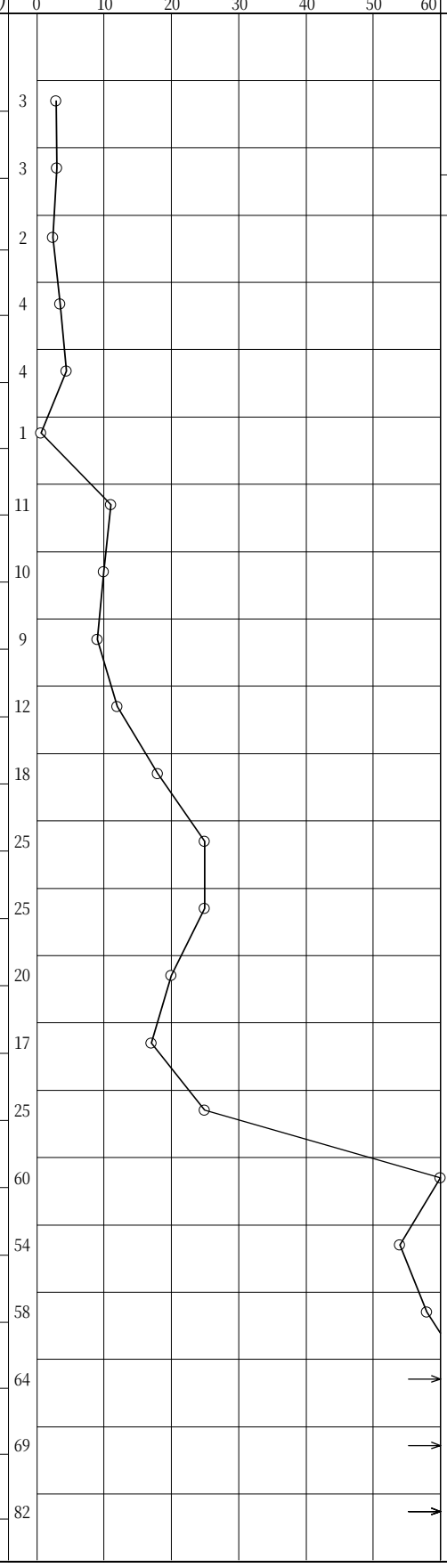
ボーリング名	山王小学校No.1	**調査位置**	千葉市稲毛区山王町121番地他			**北緯**	35° 39' 43.0"
発注機関	千葉市都市局建築部営繕課			**調査期間**	平成 18年 5月 19日 ～ 18年 5月 22日	**東経**	140° 8' 45.8"
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**		**ボーリング責任者**	
孔口標高	H +0.03m	**角度**	180° 上 90° 下 0°	**方向**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	**地盤勾配**	水平 0° 鉛直 90°	**使用機種**	
総掘進長	22.37m							**試錐機**	KR-50	**ハンマー落下用具**	半自動落下装置
								エンジン	NS75	**ポンプ**	V-5

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	-0.12	0.15	0.15		アスファルト	灰			アスファルト以深砕石主体。
1 2 3	-3.17	3.05	3.20		ローム	茶褐		軟らかい	所々虫孔状を呈す。有機物少量混入。粘性中。含水小。
4 5	-5.27	2.10	5.30		凝灰質粘土	乳黄灰		軟らかい	酸化鉄、浮石少量混入。粘性大。含水中。
	-5.77	0.50	5.80		砂質粘土	暗黄褐		中位	細砂やや多量含有。有機物少量混入。含水やや大。
6	-6.47	0.70	6.50		凝灰質粘土	乳黄灰		軟らかい	浮石やや多量混入。含水大。粘性大。
7 8 9 10 11 12 13 14 15 16	-16.67	10.20	16.70		細砂	暗黄褐	中ぐらい		所々粒子粗く不均一。含水中。 9～12m浮石少量混入。11m以浅粘土少量含有。 14m以深ブロック状にシルト少量混入。所々色調変化。 16m以深酸化鉄多量含有し、茶褐色を呈す、含水大。
17	-17.97	1.30	18.00		貝殻混り細砂	暗黄灰	非常に密な		貝殻片多量混入。粒子やや粗く不均一。含水中。
18 19 20 21 22	-22.34	4.37	22.37		細砂	暗灰	非常に密な		19m以浅暗黄灰色を呈し、貝殻片少量混入。粒子不均一。含水中。

孔内水位(m)／測定月日：5/18 3.20

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値
1.15	1	1	1	3	3
1.46					
2.15	1	1	1	3	3
2.45					
3.15	1	1	1	3	2
3.52					
4.15	1	1	2	4	4
4.49					
5.15	2	1	2	5	4
5.49					
6.00	0	1		1	1
6.47					
7.15	3	4	4	11	11
7.45					
8.15	2	3	5	10	10
8.45					
9.15	3	2	4	9	9
9.45					
10.15	3	4	5	12	12
10.45					
11.15	4	6	8	18	18
11.45					
12.15	7	8	10	25	25
12.45					
13.15	6	8	11	25	25
13.45					
14.15	5	7	8	20	20
14.45					
15.15	4	5	8	17	17
15.45					
16.15	9	8	8	25	25
16.45					
17.15	17	18	25	60	60
17.45					
18.15	17	17	20	54	54
18.45					
19.15	16	19	23	58	58
19.45					
20.15	16	24	20/8	60/28	64
20.43					
21.15	17	25	18/6	60/26	69
21.41					
22.15	24	30	6/2	60/22	82
22.37					



原位置試験

深度 (m)	試験名および結果
2.40	孔内水平載荷試験
3.00	

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法
1.50	T1	Ⓣ
2.30		
3.50	T2	Ⓣ
4.30		

室内試験（　）：物理力学（T1）、物理力学（T2）

掘進月日：5/18、5/22